

2017年度  
業績予想修正説明資料  
2018年2月23日



本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

# 内容

I. 2017年度通期業績予想修正	
1. 総括(通期)	P3
2. 通期業績予想修正	
(1)市況・生産量	P4
(2)収支	P5
3.第4Qの考え方	
(1)市況・生産量	P6
(2)収支	P7
(3)資源セグメント	P8
II. 2017年度通期配当予想修正	P9
III. 2017年度 感応度(10/24 公表時と変わらず)	P10

## I. 2017年度通期業績予想修正

### 1. 総括(通期)

- ・主に製錬セグメントの上ブレ（在庫評価益）により、3利益とも第3Q累計期間終了段階で、すでに2017/10/24公表の通期予想水準に達していましたが、1月月次決算確定後、第4Q見込みの精度が高まったため、本日より下記の通り再度の通期業績修正をさせていただきます。
- ・第4Qの利益水準は、特に製錬において直前期比で在庫評価益が落ち込むことに加え、若干の市況リスクバッファを踏まえて予想しております。
- ・配当予想についても、当初（2017/5/11）公表の@100円から@125円へと増配予想修正といたします。

(2017年度通期業績予想修正後収支)

単位:億円

	2017/10/24 公表	2018/2/23 業績予想修正 通期
連結売上高	1,250	1,340
連結営業利益	105.0	140.0
連結経常利益	105.0	140.0
連結純利益	90.0	110.0

## 2. 通期業績予想修正

### (1)市況・生産量

		10/24 公表ベース	業績予想修正前提	差(実額)	差(%)	
市況	亜鉛(米\$/t)	2,790	3,053	263	9	
	鉛(米\$/t)	2,275	2,380	106	5	
	銀(米\$/toz)	17.0	16.9	△0.1	△1	
	円/米\$	110.6	110.9	0.4	0	
	米\$/豪\$(1-12月)	0.763	0.767	0.004	1	
製錬セグメント	亜鉛製品(千t)	100.7	100.6	△0.1	△0	
主要製品生産量	鉛製品(千t)	92.1	92.7	0.6	1	
	電気銀(t)	345	336	△9	△3	
資源セグメント	粗鉱処理量 (千t)	エンデバー	402	437	35	9
CBH社関連(1-12月)		ラスプ	701	703	2	0
		計	1,103	1,139	36	3
	亜鉛精鉱生産量 (千dmt)	エンデバー	46.4	47.9	1.5	3
ラスプ		55.2	54.3	△0.9	△2	
計		101.6	102.2	0.6	1	
鉛精鉱生産量 (千dmt)	エンデバー	25.6	26.7	1.1	4	
	ラスプ	25.7	26.2	0.5	2	
	計	51.4	52.9	1.5	3	

## 2. 通期業績予想修正

### (2)収支

		10/24 公表ベース	今回修正通期	差(実額)	差(%)
売上高(億円)		1,250	1,340	90	7
営業利益(億円)	製錬	12.0	45.0	33.0	275
	資源	70.0	72.0	2.0	3
	電子部材	7.0	5.0	△2.0	△29
	環境・リサイクル	16.0	20.0	4.0	25
	その他	6.0	6.0	0.0	0
	調整	△6.0	△8.0	△2.0	—
	計	105.0	140.0	35.0	33
経常利益(億円)		105.0	140.0	35.0	33
純利益(億円)		90.0	110.0	20.0	22
EBITDA(億円)		161.2	197.4	36.2	22

### 3. 第4Qの考え方

#### (1) (市況・生産量)

			第3Q累計 (A)	第4Q前提 (B)	通期前提 (A+B)
市況	亜鉛(米\$/t)		2,932	3,410	3,053
	鉛(米\$/t)		2,331	2,530	2,380
	銀(米\$/toz)		16.9	16.9	16.9
	円/米\$		111.7	108.5	110.9
	米\$/豪\$(1-12月)		0.775	0.769	0.767
製錬セグメント 主要製品生産量	亜鉛製品(千t)		72.9	27.7	100.6
	鉛製品(千t)		73.8	18.8	92.7
	電気銀(t)		274	62	336
資源セグメント CBH社関連(1-12月)	粗鉱処理量 (千t)	エンデバー	297	139	437
		ラスプ	521	182	703
		計	818	321	1,139
	亜鉛精鉱生産量 (千dmt)	エンデバー	32.8	15.1	47.9
		ラスプ	38.9	15.4	54.3
		計	71.7	30.5	102.2
	鉛精鉱生産量 (千dmt)	エンデバー	19.5	7.2	26.7
		ラスプ	19.3	6.9	26.2
		計	38.8	14.1	52.9

### 3.第4Qの考え方

#### (2) (収支)

		第3Q累計 (A)	第4Q見込 (B)	通期見込 (A+B)
売上高(億円)		1,016	324	1,340
営業利益(億円)	製錬	41.9	3.1	45.0
	資源	53.1	18.9	72.0
	電子部材	4.6	0.4	5.0
	環境・リサイクル	14.4	5.6	20.0
	その他	5.3	0.7	6.0
	調整	△4.2	△3.8	△8.0
	計	115.0	25.0	140.0
経常利益(億円)		114.6	25.4	140.0
純利益(億円)		89.2	20.8	110.0
EBITDA(億円)		158.0	39.4	197.4

### 3. 第4Qの考え方

#### (3)資源セグメント

第4Q(3カ月)の資源セグメント利益は第3Q比△6.2億円の見込み（うち、CBH営業利益+4.9億円、連結調整他△11.1億円）

①エンデバー鉱山

営業利益実績：第1Q 2.4億円、第2Q 2.7億円、第3Q 14.1億円、第4Q 11.5億円

②ラズプ鉱山

営業利益実績：第1Q 4.6億円、第2Q 8.4億円、第3Q 7.0億円、第4Q 14.5億円

③連結調整他

営業利益実績：第1Q △5.8億円、第2Q 15.5億円、第3Q 3.5億円、第4Q △7.7億円（見込み）

利益(億円)		第3Q累計(A)	第4Q見込(B)	通期見込(A)+(B)
CBH社営業利益	エンデバー鉱山	19.1	11.5	30.6
	ラズプ鉱山	20.0	14.5	34.5
	その他	0.7	0.7	1.4
	計	40.0	26.5	66.5
*連結調整他		13.2	△7.7	5.5
資源セグメント利益		53.1	18.9	72.0

\* 連結調整他：連結部分の減価償却費を含む

## Ⅱ. 2017年度通期配当予想修正

**2017年5月11日公表の配当予想@100円  
⇒今回@125円へと@25円の増配予想修正**

下記3点の骨子から総合的に判断し、増配への予想修正となりました。

- (1) 連結最終利益予想110億円は、創業来最高益であること。
- (2) 収支への市況影響が大きいいため、配当性向よりも絶対的な配当金額水準を重視していること。
- (3) 剰余金積み上げによる自己資本の充実が未だ進行中であるため、将来投資への原資として一定の剰余金を維持したい。

### Ⅲ. 2017年度 感応度 (10/24 公表時と変わらず)

	変動幅	2016年度試算		2017年度試算		増減	
		連結営業利益 影響額	内CBH	連結営業利益 影響額	*内CBH	連結営業利益 影響額	内CBH
亜鉛	\$10/t	¥60百万	¥32百万 (豪\$370千)	¥67百万	¥46百万 (豪\$560千)	¥7百万	¥14百万 (豪\$190千)
鉛	\$10/t	¥30百万	¥20百万 (豪\$260千)	¥37百万	¥31百万 (豪\$370千)	¥7百万	¥11百万 (豪\$110千)
円/米\$	1円/米\$	¥90百万	-	¥80百万	-	△¥10百万	-
米\$/豪\$	1%	豪\$1.4百万	同左	豪\$2.9百万	同左	豪\$1.5百万	同左

連結営業利益影響額には在庫評価損益(先入先出影響等)の影響は含まない。

\* 円換算は82.5円/豪\$を使用

尚、CBH社を連結する際に円/豪ドルレートを使用して円換算を行う。したがって、CBH社の豪ドル建損益水準は、連結段階では、最終的に円/豪ドルレートにより決定される。